



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 三共生興株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長澤 和之
 社長室セネラルマネージャー 下川 浩一 TEL(06)6268-5188
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 7,751 | 6.4 | 255 | ー | 355 | 333.1 | 136 | ー |
| 22年3月期第1四半期 | 7,284 | △23.9 | △27 | ー | 82 | △66.5 | △151 | ー |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 3 02 | ー ー |
| 22年3月期第1四半期 | △3 33 | ー ー |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 45,315 | 19,206 | 41.6 | 416 57 |
| 22年3月期 | 50,118 | 21,065 | 41.3 | 457 54 |

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 18,855百万円 22年3月期 20,709百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | ー ー | ー ー | ー ー | 15 00 | 15 00 |
| 23年3月期 | ー ー | ー ー | ー ー | ー ー | 12 50 |
| 23年3月期(予想) | ー ー | ー ー | ー ー | 12 50 | ー ー |

(注) 1. 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

2. 22年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 2円50銭

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 17,800 | 2.8 | 650 | 70.7 | 700 | 76.4 | 400 | △0.4 | 8 84 |
| 通期 | 38,300 | 2.0 | 2,300 | 27.3 | 2,400 | 24.0 | 1,400 | 43.5 | 30 93 |

(注) 当四半期における連結業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 5「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数
（自己株式を含む）

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 23年3月期第1Q | 60,000,000株 | 22年3月期 | 60,000,000株 | |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期第1Q | 14,736,513株 | 22年3月期 | 14,736,513株 |
| ③ 期中平均株式数 （四半期累計） | 23年3月期第1Q | 45,263,487株 | 22年3月期第1Q | 45,546,578株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、今回の業績予想修正の詳細につきましては、【添付資料】P. 4「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成 23 年 3 月期の個別業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第 2 四半期 (累計) | 4,300 | △3.4 | 450 | 34.3 | 650 | 44.7 | 400 | △8.5 | 8 | 84 |
| 通 期 | 10,500 | △0.7 | 1,450 | 9.8 | 1,750 | 9.7 | 1,050 | △22.7 | 23 | 20 |

(注) 当四半期における個別業績予想の修正有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

| | |
|----------------------------|-------|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P. 4 |
| 2. その他の情報 | P. 5 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | P. 5 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | P. 5 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | P. 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表等 | P. 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | P. 8 |
| 【第 1 四半期連結累計期間】 | |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | P. 10 |
| (5) セグメント情報 | P. 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 11 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 6 月 30 日まで）におけるわが国経済は、輸出の増加や経済対策の効果などにより一部には持ち直しの兆しが見られましたものの、株価の低迷やデフレの影響などもあり、企業業績・個人消費は未だ本格的な回復には至らず、景気は引き続き力強さに欠ける状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境におきましても、企業収益の回復などの持ち直しの傾向が続くなか、消費マインドの一部に明るさが見えてきたものの、5 月中旬以降の低温多雨など天候不順の影響もあり、百貨店を中心とした衣料品販売は依然として低調な状況となりました。

このような経営環境のなか当社グループは販売力、商品力、マーケティング力の強化により、営業力を高めるとともに、在庫の削減や商品の生産・供給体制の確立等により利益率の向上を図るなど効率経営を追求してまいりました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前期比 6.4%増の 7,751 百万円、営業利益は前期比 28.2 百万円増の 255 百万円、経常利益は前期比 33.3.1%増の 355 百万円、四半期純利益は前期比 28.7 百万円増の 136 百万円となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

ファッション関連事業

ファッションブランド商品の国内市場においては、店頭・在庫情報の一括管理ときめの細かい商品供給により消化率の向上を図るなど、効率的な事業展開を図ってまいりました結果、「ダックス」「レオナル」ともに店頭売上は昨年を上回りました。

「ダックス」を中心としたファッションブランド商品のアジア市場においては、台湾では堅調な売上を示すほか、香港を含む中国におきましては多店舗展開が功を奏し、売上、利益ともに好調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 3,234 百万円、営業利益は 223 百万円となりました。

繊維関連事業

アパレル企業向け商品の OEM 事業においては、店頭での衣料品販売の一部に少し動きが見られるなど、やや明るさが出てきたものの、節約志向は依然として強く、全体的な消費を押し上げるまでの力強さはない厳しい環境で推移いたしました。このようななか、さらなる経費の削減、効率的な生産体制の確立に鋭意取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 2,246 百万円、営業損失は 52 百万円となりました。

生活関連事業

タオルなどのリビング商品の販売は、百貨店での販売は比較的健闘したもののギフト市場では苦戦いたしました。一方、パジャマ、寝装品等の OEM 商品の販売は厳しい環境のなか利益に貢献したほか、「ロフテー枕工房」での枕等の販売は、健康志向の高まりやメディアによる宣伝効果により順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 1,929 百万円、営業利益は 39 百万円となりました。

不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして、東京、横浜、神戸等の不動産に係る賃貸事業は、概ね順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は 601 百万円、営業利益は 243 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて 2,605 百万円 (14.9%) 減少し、14,814 百万円となりました。これは現金及び預金が 1,888 百万円減少、受取手形及び売掛金が 1,088 百万円減少した一方で、商品及び製品が 362 百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 2,199 百万円 (6.7%) 減少し、30,500 百万円となりました。これは投資有価証券が 2,110 百万円減少したことが主なものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて 4,803 百万円 (9.6%) 減少し、45,315 百万円となりました。

(負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて 2,060 百万円 (9.4%) 減少し、19,818 百万円となりました。これは短期借入金が 1,121 百万円減少、未払法人税等が 443 百万円減少、支払手形及び買掛金が 305 百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 883 百万円 (12.3%) 減少し、6,290 百万円となりました。これは繰延税金負債が 832 百万円減少したことが主なものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて 2,944 百万円 (10.1%) 減少し、26,108 百万円となりました。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 1,859 百万円 (8.8%) 減少し、19,206 百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が 1,251 百万円減少、剰余金の配当が 678 百万円あったことなどにより利益剰余金が 542 百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 22 年 5 月 14 日の決算発表時に公表いたしました、平成 23 年 3 月期の連結業績予想（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）を下記のとおり修正しております。

① 平成 23 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正
（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|---------------|------------|------------|------------|------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 17,500 | 百万円 500 | 百万円 550 | 百万円 300 | 円 銭 6 63 |
| 今回発表予想(B) | 17,800 | 650 | 700 | 400 | 8 84 |
| 増減額(B-A) | 300 | 150 | 150 | 100 | — |
| 増減率(%) | 1.7 | 30.0 | 27.3 | 33.3 | — |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期) | 17,309 | 380 | 396 | 401 | 8 84 |

② 平成 23 年 3 月期の通期連結業績予想数値の修正
（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 38,000 | 百万円 2,200 | 百万円 2,300 | 百万円 1,350 | 円 銭 29 83 |
| 今回発表予想(B) | 38,300 | 2,300 | 2,400 | 1,400 | 30 93 |
| 増減額(B-A) | 300 | 100 | 100 | 50 | — |
| 増減率(%) | 0.8 | 4.5 | 4.3 | 3.7 | — |
| (ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期) | 37,558 | 1,807 | 1,935 | 975 | 21 52 |

連結業績予想の修正の理由につきましては、本日（平成 22 年 7 月 30 日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理の適用

㊦ 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎とした、継続記録による帳簿棚卸高により算定しております。

また、当第 1 四半期連結会計期間末における棚卸資産の評価に関しては、収益性の低下が明らかなものについては正味売却価額を見積り、棚卸資産より一括して控除する方法によっております。

㊧ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

○ 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第 1 四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第 18 号 平成 20 年 3 月 31 日) 及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 21 号 平成 20 年 3 月 31 日) を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ 1 百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は 9 百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は 70 百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,997 | 5,885 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,994 | 7,082 |
| 商品及び製品 | 4,303 | 3,941 |
| 仕掛品 | 13 | 16 |
| 原材料及び貯蔵品 | 227 | 163 |
| その他 | 335 | 358 |
| 貸倒引当金 | △57 | △29 |
| 流動資産合計 | 14,814 | 17,419 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 9,975 | 9,997 |
| 土地 | 3,939 | 3,939 |
| 建設仮勘定 | 101 | 101 |
| その他(純額) | 670 | 692 |
| 有形固定資産合計 | 14,686 | 14,731 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 4,182 | 4,197 |
| その他 | 84 | 84 |
| 無形固定資産合計 | 4,267 | 4,281 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,523 | 12,633 |
| その他 | 1,970 | 1,999 |
| 貸倒引当金 | △946 | △946 |
| 投資その他の資産合計 | 11,547 | 13,685 |
| 固定資産合計 | 30,500 | 32,699 |
| 資産合計 | 45,315 | 50,118 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,924 | 5,229 |
| 短期借入金 | 12,585 | 13,706 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 359 | 359 |
| 未払法人税等 | 126 | 569 |
| 未払費用 | 828 | 999 |
| 返品調整引当金 | 64 | 316 |
| その他 | 929 | 698 |
| 流動負債合計 | 19,818 | 21,878 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 918 | 1,008 |
| 長期未払金 | 729 | 776 |
| 繰延税金負債 | 3,097 | 3,929 |
| 退職給付引当金 | 566 | 554 |
| 長期預り金 | 818 | 824 |
| その他 | 159 | 80 |
| 固定負債合計 | 6,290 | 7,173 |
| 負債合計 | 26,108 | 29,052 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,000 | 3,000 |
| 資本剰余金 | 6,165 | 6,165 |
| 利益剰余金 | 15,819 | 16,361 |
| 自己株式 | △5,234 | △5,234 |
| 株主資本合計 | 19,750 | 20,292 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,733 | 3,984 |
| 繰延ヘッジ損益 | △34 | 3 |
| 為替換算調整勘定 | △3,593 | △3,570 |
| 評価・換算差額等合計 | △894 | 417 |
| 少数株主持分 | 351 | 356 |
| 純資産合計 | 19,206 | 21,065 |
| 負債純資産合計 | 45,315 | 50,118 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 7,284 | 7,751 |
| 売上原価 | 4,054 | 4,272 |
| 売上総利益 | 3,229 | 3,478 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,257 | 3,222 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △27 | 255 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 2 |
| 受取配当金 | 126 | 159 |
| 負ののれん償却額 | 28 | — |
| その他 | 34 | 37 |
| 営業外収益合計 | 197 | 199 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 56 | 37 |
| 為替差損 | 8 | 53 |
| その他 | 22 | 8 |
| 営業外費用合計 | 87 | 99 |
| 経常利益 | 82 | 355 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 22 | 9 |
| 特別利益合計 | 22 | 9 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 30 | 32 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 7 |
| 減損損失 | 9 | — |
| その他 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 39 | 40 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 65 | 325 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 106 | 132 |
| 法人税等調整額 | 106 | 53 |
| 法人税等合計 | 213 | 185 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 139 |
| 少数株主利益 | 3 | 2 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △151 | 136 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 65 | 325 |
| 減価償却費 | 221 | 192 |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | △264 | △252 |
| 受取利息及び受取配当金 | △135 | △161 |
| 支払利息 | 56 | 37 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 2,166 | 1,091 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △212 | △422 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,267 | △304 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △286 | △58 |
| その他 | △56 | 11 |
| 小計 | 287 | 458 |
| 利息及び配当金の受取額 | 135 | 162 |
| 利息の支払額 | △45 | △35 |
| 法人税等の支払額 | △241 | △544 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 135 | 40 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △154 | △112 |
| その他 | △2 | △7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △156 | △119 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △124 | △1,121 |
| 長期借入金の返済による支出 | △89 | △89 |
| 配当金の支払額 | △463 | △560 |
| 自己株式の取得による支出 | △812 | — |
| その他 | △9 | △18 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,498 | △1,789 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 240 | △19 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,279 | △1,888 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,457 | 5,785 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,177 | 3,897 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 6 月 30 日)

| | ファッション 関連事業 (百万円) | 繊維 関連事業 (百万円) | 生活 関連事業 (百万円) | 不動産 賃貸事業 (百万円) | その他 の事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又 は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-------------------------------|-------------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対 する売上高 | 3,105 | 1,707 | 1,879 | 468 | 122 | 7,284 | — | 7,284 |
| (2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 76 | 202 | 6 | 164 | 227 | 677 | (677) | — |
| 計 | 3,182 | 1,910 | 1,886 | 632 | 350 | 7,962 | (677) | 7,284 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | △40 | △49 | 4 | 276 | △26 | 165 | (193) | △27 |

[セグメント情報]

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、グループセグメント別経営会議が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものを基本としております。

当社グループは「ファッション関連事業」、「繊維関連事業」、「生活関連事業」及び「不動産賃貸事業」等の事業を営んでおります。

「ファッション関連事業」は、ファッション製品の企画、生産、販売及び海外ブランド商品の輸入販売及びライセンスビジネスを行っております。

「繊維関連事業」は、原料から加工、企画、生産、販売に至るまでの繊維衣料製品の OEM 事業を中心とした繊維事業全般を行っております。

「生活関連事業」は、ホームウェア、ナイトウェア、寝装品等を中心とした海外ブランド商品の OEM による生産、販売及びタオル、寝装品、水回り品等のライセンス、輸入商品の販売並びに自社ブランド枕等寝装品の生産、販売を行っております。

「不動産賃貸事業」は、グループ会社所有不動産の貸オフィス、貸ホール、貸ビルを中心とした賃貸事業を行っております。

当社グループは、以上の 4 つの事業を報告セグメントとしております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 6 月 30 日)

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|----------------|-------------|-------------|------------------|-------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | ファッション 関連事業 | 織 維 関連事業 | 生 活 関連事業 | 不 動 産 貸 貸 事 業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 3,166 | 2,009 | 1,922 | 455 | 7,554 | 196 | — | 7,751 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 68 | 236 | 6 | 146 | 457 | 216 | (674) | — |
| 計 | 3,234 | 2,246 | 1,929 | 601 | 8,012 | 412 | (674) | 7,751 |
| セグメント利益又 は損失(△) | 223 | △52 | 39 | 243 | 453 | △41 | (156) | 255 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△156 百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△192 百万円及びセグメント間取引消去等 36 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第 1 四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第 17 号 平成 21 年 3 月 27 日) 及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 20 号 平成 20 年 3 月 21 日) を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。